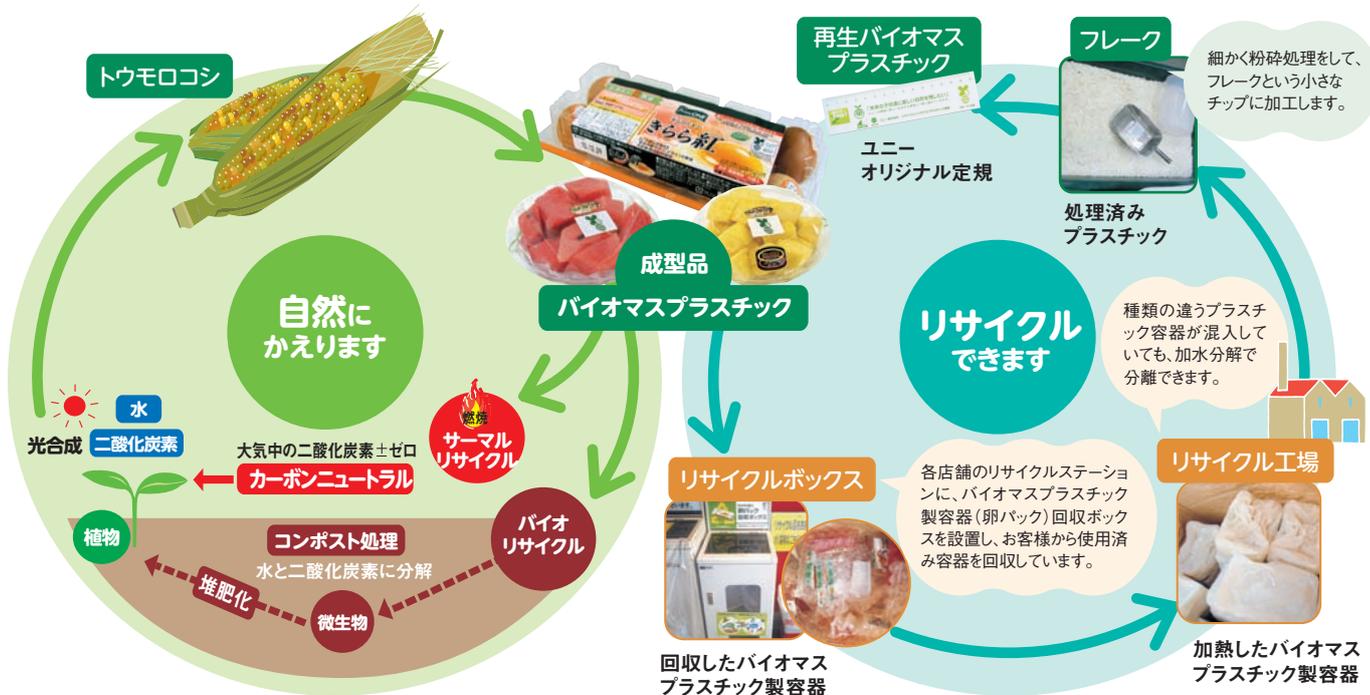


3 サステイナブル（持続可能な）原料を使った容器包装への取り組み

バイオマスプラスチック（ポリ乳酸）製容器包装

容器包装にはプラスチック製のものが多く、その原料はほとんどが石油です。石油は地球に残された量には限りがあり、近い将来には使い切ってしまう恐れのある貴重な資源です。使い捨てられる容器包装にそのような資源を使ってしまってよいのでしょうか。また、石油は化石資源なので産出するときや廃棄処理するときCO₂を排出し、地球温暖化の原因になると言われています。

こうしたことを考えて、ユニーでは2006年から植物を原料にしたバイオマスプラスチック製容器を使っています。植物は光合成により大気中からCO₂を吸収して成長し、また繰り返し栽培できることから、サステイナブル（持続可能な）原料です。



バイオマスプラスチックの特徴



バイオマスマーク

動植物を原料としたプラスチック
使用後は水と二酸化炭素に分解され、
自然に戻ります。

1 石油に代表される化石燃料の節約になる
トウモロコシのような植物生まれの原料を使うことで、
限りある化石燃料が節約できます。

2 二酸化炭素を増やさない
バイオマスプラスチックを燃やしても、もともと含んでいた
二酸化炭素が自然にかえるだけで、地球上の二酸化
炭素の増加にはつながりません（カーボンニュートラル）。

3 微生物の力で水と二酸化炭素に分解
生ゴミなどの堆肥に入ると、微生物によって水と
二酸化炭素に分解され、廃棄物になりません。

4 リサイクルできる
使用済みバイオマスプラスチック容器を回収し、再
生資源としてリサイクルしています。

三県一市グリーン購入キャンペーン

2002年より愛知県・岐阜県・三重県と名古屋市との共催で「環境にやさしいお買い物」を推進するキャンペーンに参加しています。またユニーでは独自のプログラムとして、「バイオマスプラスチック製容器の認知度向上と普及」を目的に、応募企画と啓発イベントを実施しました。

このキャンペーンでは、文房具や食品のバイオマスプラスチック製容器などの紹介、使用済み容器包装の回収とその再生利用を子供達への環境学習と、大人のお客様にはクイズで啓発活動を行いました。

